

## 平成29年第3回定例会質問事項

### 質問1 釣 昭彦 議員

- 1 防災行政無線の情報伝達のあり方について
  - (1) 8月7日、台風5号時の伝達方法について
  - (2) 防災行政無線の設置場所の周知について
  - (3) 防災行政無線の拡声効果について
- 2 赤穂市公共施設等総合管理計画について
  - (1) 公共施設等マネジメントの考えについて
  - (2) 効率的な施設運用について
  - (3) 財源確保の考え方について

### 質問2 田 淵 和 彦 議員

- 1 赤穂市民病院について
  - (1) 第二期基本構想事業に対する事業費と市税の投入
  - (2) 市民病院の管理体制のあり方
  - (3) 西部診療所のあり方
- 2 千種川広域河川改修事業について
  - (1) 有年地区で千種川による水害が何度発生しているか
  - (2) 千種川の危機管理と整備の考え方
  - (3) 未整備箇所（有年）の事業実施予定は
  - (4) 未整備箇所への早期完了に向けた対応は
- 3 有年地区の河川敷グラウンドのあり方について
  - (1) 赤穂北部地区に多目的グラウンドの設置は
- 4 西有年・梨ヶ原管理型産業廃棄物最終処分場について

### 質問3 家 入 時 治 議員

- 1 教職員の負担軽減策について
  - (1) 学校徴収金の口座引き落としについて
  - (2) 就学援助申請の手続き改善について
  - (3) 中学校部活動のあり方について
    - ア 中学校部活動の今後のあり方について
    - イ 民間人指導者の考え方について
    - ウ 部活動顧問が負担となっている部活動指導者を募集してはどうか
- 2 火災発生時の消防と防災行政無線の対応について

- (1) 建物火災発生時におけるはしご車の出動について
- (2) 火災発生時の防災行政無線の活用について
- 3 スポーツ先進都市に進化させ、まちの活性化を
  - (1) スポーツ都市宣言のまちの成果と課題について
  - (2) 国の仮称「地方再生重点都市」への応募について

#### 質問4 土 遠 孝 昌 議員

- 1 ライフラインの整備について
  - (1) 下水道の更新について
- 2 市民サービスの向上について
  - (1) 公共施設のトイレの洋式化（ウォシュレットも含む）の推進について
- 3 市有地の土地活用について
  - (1) みなとひろば隣接地の施設等の撤去と活用について

#### 質問5 前 田 尚 志 議員

- 1 赤穂市民憲章の活用、見直しについて  
市制施行30周年に制定された市民憲章の今後のさらなる活用方法、内容の見直しについて
- 2 赤穂ブランド推進事業の進捗状況について
  - (1) これまでの調査研究の中で、赤穂ブランドの定義、対象物、生産者の育成計画、販路開拓、開発見込みはどのようになったのか
  - (2) それらを踏まえたブランド戦略の策定や実践はどのようにされているのか
  - (3) 開発支援状況はどのような状況なのか
- 3 交通弱者対策について  
増加する高齢者等移動手段を持たない交通弱者に対する検討や研究はいつの時点から始められるのか、どのような手順で進められるのか、今後の具体的な対応について

#### 質問6 汐 江 史 朗 議員

- 1 市民病院の課題について
  - (1) 産科診療・分娩休止について
  - (2) 眼科・呼吸器科他について
  - (3) 外来患者さんの待ち時間について
- 2 市民病院第二期基本構想における人工透析について
  - (1) 当初計画20床増について

- (2) 患者さんのロッカーについて
  - (3) 倉庫の空調について
  - (4) ダイアライザー等の保管について
  - (5) 夜間透析について
- 3 国道250号高取峠トンネル化看板について
  - 4 浜田土地区画整理事業区域の溝蓋について

#### 質問7 前川弘文議員

- 1 地域で支え合う買い物等同行支援サービスについて
- 2 車を所有していない家庭における深夜の緊急時の移動手段確保について
- 3 市民が日常生活の中で見つけた道路の陥没などの問題箇所を、スマートフォンのアプリを活用して、すぐに市の担当課に知らせることができるシステムの導入について
- 4 参観日等の学校行事における託児サービスの実施について
- 5 障がい者や高齢者の方々が投票しやすい環境について

#### 質問8 山野崇議員

- 1 地方創生・赤穂市総合戦略の現状について
  - (1) KPI達成率も含めた、現在の進捗率は
  - (2) 総合戦略推進員を設置した効果は
  - (3) もっと市民を巻き込むことに意味があると思うが、こういった事業を知らない市民が多くいると感じる、発信力を高める必要性は
- 2 千種川における現在の危険性、及び市民の不安解消について
  - (1) 佐用町、上郡町、有年と河川改修が行われて川の状況が刻々と変わっている、現在の危険性をどう考えているか
  - (2) 危険である、大丈夫かと漠然と思っている市民に対する広報、周知の必要性があるのではないか

#### 質問9 榊悠太議員

- 1 シビックプライド（ふるさとに対する愛着と誇り）を育む教育について
  - (1) 小学校での取り組みについて
  - (2) 若者のUターンや定住促進への効果について
  - (3) 転出者への対応について
- 2 職員の能力開発について
  - (1) 方針、取り組みについて

- (2) 職員に対する市民の満足度について

#### 質問10 竹内友江議員

- 1 義士祭の取り組みについて
  - (1) 前夜祭を活性化するため、ミニ花火とメッセージ花火を考えられないか
  - (2) 義士娘の衣装の新調と活動の場の拡大を考えられないか
  - (3) 前夜祭に姉妹都市の参加は考えられないか
- 2 敬老会の抜本的な見直しについて
  - (1) 名称の変更と対象年齢の考え方について
  - (2) お祝い金等の考え方について
- 3 文化会館のあり方について
  - (1) 公演の内容について
  - (2) 大ホールの客席と駐車場の現状は

#### 質問11 木下守議員

- 1 小中学校へのエアコン設置について
  - (1) 熱中症の現状と対策
  - (2) 夏季授業時間増加への対策
  - (3) エアコン設置費用の調査
- 2 小型無人機（ドローン）の活用について
  - (1) 災害時の情報収集
  - (2) 観光PRへの利用
  - (3) ドローン操縦士育成
- 3 マイナンバーカードの活用について
  - (1) マイナンバーカードの有効利用
  - (2) マイナンバーカードの普及

#### 質問12 西川浩司議員

- 1 スポーツ施設における指定管理について
  - (1) 赤穂城南緑地公園野球場及び元禄スポーツセンターのグラウンドの管理状況について
  - (2) 市の担当者と指定管理者の連携について
- 2 中学校の部活動のあり方について
  - (1) 部活動の維持について
  - (2) 部活動の施策について

### 質問13 瓢 敏 雄 議員

- 1 高取峠のトンネル化について
  - (1) 建設は県の意向が全てか
  - (2) 現状と協議会について
  - (3) 今の道路の改修について
  - (4) 現状での活性化は検討できないのか
- 2 赤穂大橋架け替えについて
  - (1) 市道のまま架け替えするのか等、考え方について
  - (2) 市内の橋梁、高取峠トンネル化との優先順位は
- 3 JR赤穂線の利用促進について
  - (1) 新快速の減便の影響について
  - (2) 電車の減便対策や増便の陳情について
  - (3) JR利用者の動向と市民の利用促進について
- 4 忠臣蔵の日本遺産認定申請について
  - (1) 認定申請するストーリーは決まったのか
  - (2) 赤穂市歴史文化基本構想の進捗状況について
  - (3) 認定は赤穂のまちに誇りと希望をもたらす

### 質問14 奥 藤 隆 裕 議員

- 1 ICT化（情報通信技術）の計画と考え方について
  - (1) ICT化の進捗状況について
  - (2) 議会に提出する文書はどこまで電子化が可能か
- 2 オープンデータを利用した情報公開について
  - (1) 行政の文書はどの程度公開できると考えるか
  - (2) データの公開をCSV或いはXLM形式で公開できないか
  - (3) 予算・決算書をかなり詳しい内容まで公開できないか
  - (4) 市民と行政の意見交換について、双方向のシステムができないか

### 質問15 山 田 昌 弘 議員

- 1 有年診療所の今後について
  - (1) 有年駅周辺整備の核施設として移転できないか
- 2 狭隘道路での救急搬送について
  - (1) 軽救急車の導入について
- 3 産業廃棄物最終処分場建設反対市民の会との連携強化について
  - (1) 市として議会並びに市民の会へのかかわり方について

- (2) 近隣市町との連携について
- 4 大雨・洪水警報時の避難判断について
  - (1) 千種川上流域改修完了に伴う下流域の影響について
  - (2) はんらん危険水位基準の引き上げについて

#### 質問16 川本孝明議員

- 1 国保の県単位化について
  - (1) 県が示してきた「納付金」「標準保険料率」を公表しその影響を明らかにされたい
  - (2) 公表された「納付金」によって、現在の国保税が増額となる場合は一般会計からの法定外繰り入れを増額すべきだ
  - (3) 市独自の減免・軽減制度の拡充を行うこと、子どもに係る均等割保険料を軽減する支援策を国と県に求めること
- 2 国保繰り越し金7千400万円を使用し、国保税一世帯あたり1万円引き下げられたい
- 3 西有年産廃計画について
  - (1) 市長がリーダーシップを取ろうとしないのは、どのようなリスクを想定しているのか
  - (2) 赤穂市への影響をどのように認識しているのか
  - (3) 赤穂市として市民の会と一緒に専門家に依頼し、行動を起こすべきではないのか

#### 質問17 小林篤二議員

- 1 病児病後児保育の実施を求める
- 2 高校卒まで医療費無料化を改めて求める
- 3 介護保険制度改革の影響について
  - (1) 「新総合事業」が始まって5か月が経過した、赤穂市としてその実態をどう把握されているか
  - (2) 地域包括ケアシステムは、「共助」「公助」に頼らない「自助」「互助」中心のシステムを基本としている、「介護の家族化」へ逆行し、公的給付を住民に押し付ける「介護の互助化」という事態だ、家族・近所の助け合いで成り立つのか、見解をうかがう
  - (3) 「財政的インセンティブの付与」により、介護保険「卒業」など認定率切り下げ、給付削減競争に駆り立てる目標設定をどう見ているか
  - (4) 第6期計画期間の繰越や準備基金の残は、保険料軽減に充当すること

#### 4 西有年産廃計画の関係住民の範囲について

- (1) 福浦の経験を活かし、赤穂市だけでなく相生市の佐方・坪根、姫路市の家島住民等も関係住民とすること